

取組みの主な進捗状況

生活のDX

データに基づく生活道路の交通対策が開始！



8月、福井市明新地区で、歩行者の安全確保を目的とした速度規制対策が始まりました。対策エリアの選定には、昨年度実証で取得した実際の運転挙動データも活用しています。今後、対策前後の走行データを分析することで、対策の効果を検証していく予定です。

※福井県交通安全マップ：<https://fsafety-map.app/>

へき地においてオンライン診療の実証を開始！

山間部などのへき地における医療提供体制を強化するため、7月から、県内4か所で、患者が自宅にいながら予約・診察・服薬指導・会計までできるオンライン診療の実証を開始しました。来年3月まで有効性を検証します。



産業のDX

企業がDX推進宣言！DX専門家派遣も急増中！



ふくい産業支援センターは、経営トップ自らDXを進める企業9社を「ふくいDX推進宣言企業」に登録しました。今年度、中小企業への出張相談などの支援を強化した結果、DX専門家の派遣依頼が大幅に増加しており、県内企業の関心が高まっています。同センターへ是非ご相談ください。

AIが稲の生育段階を判定します！

県農業試験場の生育データを活用した稲の生育判定アプリ（Growth eye）が開発されました。スマホのカメラを田んぼにかざすだけで、稲の茎数や生育段階を診断できます。稲の生育段階に応じた適切な追肥や水管理を通じた品質向上に向けて是非ご活用ください。



行政のDX

行政手続9割のオンライン化を目指します！



今年度、県への申請数の約9割に相当する行政手続をオンライン化します。利用するシステムも市町と共同で準備し、県民の皆さんが全ての自治体に対し、同じように申請を行えるようにします。また、施設予約システムも直感的に利用できるシステムへの見直しを進めています。

システム内製化を通じた業務改善を推進中！

昨年度のRPA（業務自動化）の取組に続き、今年度は、職員自ら、迅速安価にシステムを作成できる業務改善ツール（Kintone）を試験導入しました。行政実務の生産性向上を図り、県民サービスの向上に努めます。



最近の県の動き

ペーパーレス▲50%を目指します！

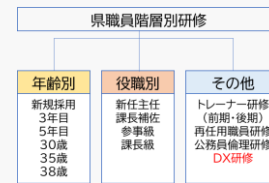
テレワークなど多様な働き方実現や行政コスト削減に向けて、ペーパーレスを推進しています。電子決裁やFAXレスなどにも取り組みながら、全庁の紙使用量50%削減に取り組んでいます。



組織毎の紙使用量の見える化や調達削減目標の設定により、庁内のペーパーレス化をしっかりと進め、効率的な行政運営に努めてまいります。

職員向け研修にDX研修を導入しました！

今年度、職員階層別研修にDX研修を導入しました。管理職を対象とした研修では、DX推進の必要性や職場での実践に向けた理解など、自らDXを進める意識醸成を図っています。



階層別研修にDX研修を追加することで、すべての職員が、それぞれの立場から、デジタルリテラシーや意識を高め、全庁的な業務変革につなげていきます。

県内市町においてDXの取組が進んでいます！

県内各市町においても、DX推進計画の策定や推進体制の整備などが進んでいます。オンライン上で申請手続きや「書かない窓口」の実現など、DXによる市民サービスの向上が図られています。



- 【推進計画の策定】
7市町（年度中に12市町）
- 【推進体制の整備】
10市町
- 【国のDX推進事業採択】
6市町 9事業

県は、市町のDX会議での講演やワークショップ開催、アドバイザーによる相談対応など、人材・技術面から市町のDX推進をサポートしています。